

東都リーグ交流戦

☆駒大7-0順大

2安打完封、力の差見せた！

平成27年度東都大学野球交流戦が8月21日から25日まで、神宮球場で行われた。今年の交流戦は、若い選手が中心のメンバーとなったが、順大に対して力の差を見せつける結果となった。投げては、先発の赤川大和(商1)が7回を安打1本に抑え、打っては田中佑汰(現1)がソロ本塁打を放つなど、秋のリーグ戦に向けて大きな収穫となった。

恒川大輝(法2)の中前適時打で2点を追加。その後、満塁から吉田甫(歴1)の走者一掃の左越二塁適時打で、3点を追加し、5点差とする。

さらに7回、四球と安打で2死一、三塁とする。行方寿幸(国2)の打席間に三塁走者がかえり1点を追加。

8回には田中佑のダメ押しとなる左越ソロ本塁打で試合を決定づけた。先発の赤川は、7回を投げて順大打線をわずかにヒット1本に抑える好投を見せた。

駒大	014	000	110	7
順大	000	000	000	0

2回、2死から岡本航(法2)が中前に運ぶと、相手のエラーが重なり、1点を先制する。続く3回は、2死から新井充(法1)の左前安打と菅野起門(商1)の左前安打で一、二塁とする。

赤川については、新垣道太監督代行は「行けるところまで行くぞと言っていたが、ここまで投げられたのは収穫だった」と、手応えを感じていた。

打安点	
(7)高橋優	300
H7篠原諒	200
(4)新井	420
4青木	100
4西村	000
(6)菅野	310
H6砂川	100
DH恒川	431
RD中野	000
(3)行方	200
H3内山	100
(5)吉田	313
5田中佑	111
(9)岡本	420
(2)長	300
H酒井	100
2石田	000
(8)諸積	310
計	36115

回	打安責
○赤川	7 2310
保坂	2 710



東都ベースボール好評配布中！！
 特集 春に躍動した選手たち
 & 春の雪辱を誓う選手たち
 配送サービスも行っております。
 住所・氏名をご記入の上
 tohtobaseball@gmail.com まで！



【右】好投を見せた赤川

写真＝寒川朋子

また、8回にホームランを放った田中佑は「秋のリーグ戦に出たいという気持ちはとても強い」と、秋のリーグ戦への強い意欲を見せた。
 文＝山本正太



【左】田中佑はダメ押しの本塁打を放った



【右】一人で先制点を挙げた岡本

第47回仏教系四大学野球大会が8月21日から22日まで、龍谷大学瀬田球場で行われた。2年ぶりの優勝を目指す駒大は、初戦を快勝し決勝に駒を進めるも、昨年と同じ立正大に敗れ、惜しくも準優勝に終わった。

◆8月21日
 1回戦
 愛学大1-8駒大
 龍谷大1-2立正大

◆8月22日
 三位決定戦
 愛学大8-5龍谷大
 決勝戦
 駒大3-6立正大

仏教大会準V